

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-57	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論国 701	新編論理国語		

1.編修の基本方針

①言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、教材ごとに学習する主な目標も示しました。また、読解教材の「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・単元内に「書くこと」の言語活動教材を配置することで、単元内の読解教材と併せて、「書く」「読む」の学習がバランスよく行えるようにしました。

②論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

- ・論理的思考力を身につける教材として、文化・社会・科学などの分野の評論をバランスよく採録、配置しました。
- ・「論理の力」と題した教材を新設し、論理的思考力を養うための学習を重点的に行えるようにしました。更に、読解教材の「学習の手引き」に設けた「論理の力」の課題から、「論理の力」の教材にリンクさせ、関連づけて扱えるようにしました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、話し合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書く」「読む」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。
- ・「働くよろこび」と題した単元では、働く人の思いに触れる複数の読解教材を通して、社会の中で生きること、働くことについて、考えを深められるようにしました。

③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・「論理の力を鍛えよう」や「文章を読み比べるために」、「図表の読み取り方」といったコラムでは、論理的な考え方や文章・図表の読み解き方について、分かりやすく示しました。
- ・「考える楽しみ」と題したコラムのシリーズでは、読解教材本文と関連づけながら、考えを深めるための切り口を提示しました。
- ・読書に親しみ教養を高めるために、「ブックガイド」を2か所に掲載し、学問や現代社会に関連するテーマの図書を紹介しました。
- ・附録には、「思考ツール・発想の方法」「原稿用紙の使い方」「パソコンを用いたレポートの書き方」「手紙・メールの書き方」「履歴書の書き方」「面接の受け方」「論文・レポートの種類と構成」といった資料を用意し、実社会で必要となる知識や技能も含めて、多様な学習に対応できるようにしました。
- ・附録として掲載した「この教科書で学ぶこと」では、「書くこと」「読むこと」の各教材について、どんな事項を学習するのかを一覧で示し、学習の見通しや振り返りに生かせるようにしました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 部	1 広がる風景	・対話とおしゃべりの対比を通して、コミュニケーションの在り方を問いかける評論を用意しました。(第3号) ・シャーロック・ホームズなどの例を通して、学ぶことの意味を論じる評論を用意しました。(第1号)	→8～14ページ →15～22ページ
	2 考える手がかり	・広島で被爆死した少女たちが着ていた衣服を通じて、平和について考える文章を用意しました。(第5号) ・人間の内的な世界と切り離されたところで発展してきた自然科学の限界を論じ、物語や神話が、人間と世界との関わりを理解する重要な役割を果たすのだと述べる評論を用意しました。(第1号) ・成年年齢の引き下げを題材として取り上げ、集めた資料を整理する活動を通して、成人となる自覚を促す教材を用意しました。(第3号)	→26～36ページ →37～43ページ →46～54ページ
	3 人間と知性	・人はなぜ勉強しなければならないのか、という問いを通して、学ぶことの意義を説き明かす評論を用意しました。(第1号) ・社会にみられるさまざまな事故を例としながら、人間の脳の限界について警鐘を鳴らす評論を用意しました。(第1号)	→56～65ページ →66～72ページ
	4 現実の中で	・個人生活や社会生活において、すぐには答えが出ない困難な問題に直面した時、分からないまま正確に対処することができるよう、思考に体力をつけることが必要であると説く評論を用意しました。(第3号) ・安心とは頼れる人がそばにいてくれること、という世界に共通する感覚を挙げる一方で、冒頭の車の例を理解できない貧しい国の人々がいることにも触れ、広く社会や世界に目を向けさせる文章を用意しました。(第5号) ・高校生の読書量をテーマに、仮説を立てて検証する活動を通して、読書習慣を振り返る契機となる教材を用意しました。(第1号)	→76～82ページ →83～91ページ →93～100ページ
	5 ものの見方	・自然界における捕食者と被食者の関係から、弱肉強食は必ずしも自然の摂理ではないと説く評論を用意しました。(第4号) ・パプアニューギニアの事例を引き合いに、「わたし」というものが状況や相手との関係性に依拠して変化するものであると説く評論を用意しました。(第1号)	→102～113ページ →114～121ページ
	6 働くよろこび	・服飾デザインの仕事の経験を通して、言葉が果たす役割を伝える文章を用意しました。(第2号) ・「楽しく働く」ことが単純に「楽しく働く」ことにつながるわけではないのか、と問いかけ、筆者自身が「楽しく働く」ために参考になった本を紹介する文章を用意しました。(第2号)	→124～131ページ →132～142ページ
	論理の力	・「論理」とは何かということについて学び、論理的な思考をする態度を養う教材を用意しました。(第1号) ・接続表現の意義と使い方を学び、文章の論理的関係を適切につかむ力を養う教材を用意しました。(第1号) ・論証の説得力を「根拠」と「導出」という観点から分析し、適切に論証を把握する力を養う教材を用意しました。(第1号) ・文章の「問い」と「答え」の構造に注目し、「答え」に当たる中心的主張を適切に取り出す力を養う教材を用意しました。(第1号) ・質問することの意義や質問の種類を学ぶことを通して、適切に質問する力を養う教材を用意しました。(第1号)	→146～147ページ →148～153ページ →154～157ページ →158～161ページ →162～166ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Ⅱ部	1 時代をひらく	・不確実な状況下で判断を下すことの困難を乗り越えようとする感情が、創造性を支えているのであると説く評論を用意しました。(第3号) ・生物が多様であることの重要性を説き、その保全のためには、量から質へ、豊かさの捉え方を変えるべきであると述べる評論を用意しました。(第4号)	→168～175ページ →176～183ページ
	2 新しい視点から	・戦争や震災といった強烈な体験をした人たちの語りを聞いた筆者が、自己や世界はさまざまな物語を寄せ集めて形成されると述べる文章を用意しました。(第5号) ・喫茶店で開店準備をする女性の観察から、そのような平凡な日々の細部の積み重ねが私たちの生の容貌であり、それに耐えることでしか生の次の段階は開かれないのだと述べる文章を用意しました。(第2号) ・フットプリントという概念を取り上げ、短い論文を書いて読み合う活動を通して、環境保護への意識を養う教材を用意しました。(第4号)	→186～192ページ →193～199ページ →203～208ページ
	3 科学と人間	・アンドロイド研究の経験を踏まえ、人間とは何かを問いかける評論を用意しました。(第1号) ・ロボットが自由意志を持つとはどういうことかを問いながら、人間が持つ自由意志について考察する評論を用意しました。(第1号)	→210～218ページ →219～227ページ
	4 豊かな認識	・ギリシャ以来の伝統的な言語観とソシュールの言語観を対置して、言語の特徴を提示する評論を用意しました。(第1号) ・事実を観察するという行為は、観察時の状況や観察者の持つ背景知識によって左右されることを述べる評論を用意しました。(第1号) ・エコカーの普及を題材に、資料を活用して論述する活動を通して、気候変動への対策を考える教材を用意しました。(第4号)	→232～239ページ →240～248ページ →253～260ページ
	5 知のゆくえ	・本とインターネットとの比較から、本の利点を知識における作者性と構構性に見いだす評論を用意しました。(第1号) ・人間の知性は、学識や教養といった要素だけでなく、協調性や道徳観といった要素を併せ持った総合的なものを指すと述べる評論を用意しました。(第1号)	→262～270ページ →271～279ページ
	6 明日をみつめて	・江戸時代の贋金づくりや預かり手形の事例を取り上げながら、貨幣の本質を探る評論を用意しました。(第1号) ・大阪万博が示した未来社会を例に、「未来」というものは現在時の中の人々の予想や予期や想像の中にあり、それらを生み出す社会意識の中にあるのだと述べる評論を用意しました。(第3号) ・さまざまな人が知るべき重要な情報を誰にでも伝わるように表現するための方法について、実用文を通して学べる教材を用意しました。(第3号)	→282～290ページ →291～301ページ →302～307ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、ブックガイドを掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、コラム「言葉の扉」(4か所)を設け、言葉に対する関心を喚起し、言葉の正しい使い方について考える内容を示しました。また、言語活動教材において、社会生活の中からテーマや課題を設定し、調べたことを多角的に検討して考えを深め、分かったことや考えたことを文章にまとめる学習を多く取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-57	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論国 701	新編論理国語		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の3事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「本文に出る漢字」の関連語句や「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学べるようにしました。
- ・コラム「言葉の扉」(4か所)を掲載し、漢字・語彙など、国語の知識・技能を養う内容を取り上げました。
- ・「論理の力」と題した教材を新設し、情報と情報との関係や情報の整理を含め、論理に関する内容を重点的に学べるようにしました。
- ・新たな考えの構築に資する読書へのいざないとして、「ブックガイド」(2か所)を掲載しました。

③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

- ・資料の概要をまとめたり、意見文や短い論文を書いたりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・文章の読み比べについて取り立てて学べるよう、コラム「文章を読み比べるために」を用意するとともに、読み比べに適した複数の評論教材を掲載しました。
- ・実用的な文章の読み取りに対応した教材として、「やさしい日本語」を掲載しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
Ⅰ部									
1 広がる風景	対話とは何か	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ／ (2)イ	8		2	2	
	世界をつくり替えるために	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ ／(2)ウ	15		2	2	
	■論理の力を鍛えよう	(2)ア		(1)エ	23				
	【論理の力】論理とは何か	(2)ア、イ、ウ		(1)ウ、エ	146		1	1	
2 考える手がかり	少女たちの「ひろしま」	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、エ、カ	26		2	2	1 学期 24
	【論理の力】要約する力	(2)ア、イ		(1)ア、エ	158		2	2	
	「ふしぎ」ということ	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、カ	37		2	2	
	言葉の扉❶……誤用しやすい慣用句	(1)イ		(1)ア	44				
	【論理の力】つなげる力	(1)ウ／(2)ア		(1)ア、エ	148		2	2	
	〔書く〕資料を整理し、テーマを吟味しよう	(2)ア、イ	(1)ア、イ、エ／(2)ア		46	11		11	
3 人間と知性	学ぶことと人間の知恵	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、オ、キ／(2)エ	56		2	2	
	ラップトップ抱えた「石器人」	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、オ、キ／(2)エ	66		3	3	
	■文章を読み比べるために	(2)ウ		(1)キ／(2)エ	73				
	【論理の力】論証する力	(2)ア、ウ		(1)ウ、カ	154		2	2	
4 現実の中で	思考の肺活量	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ	76		2	2	2 学期 28
	安心について	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ、エ／(2)ア	83		3	3	
	考える楽しみ❶……言葉にすると、しなやか	(1)ア		(1)ア	92				
	【論理の力】質問する力	(2)ア、ウ		(1)エ、カ	162		2	2	
	〔書く〕仮説を立てて検証しよう	(1)エ／(2)ア、ウ／(3)ア	(1)ア、エ、オ／(2)イ		93	14		14	
5 ものの見方	弱肉強食は自然の摂理か	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、エ／(2)ウ	102		4	4	
	複数の「わたし」	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ	114		4	4	
	ブックガイド❶……学びの窓をひらいて	(3)ア		(1)キ	122				
6 働くよろこび	はじめに「言葉」がある	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、カ／(2)イ	124		4	4	3 学期 18
	楽に働くこと、楽しく働くこと	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ／(2)エ	132				
	情景のなかの労働	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ	138		6	6	
	鉄、千年のいのち	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ	141				
	言葉の扉❷……知っておきたいカタカナ語	(1)イ		(1)ア	143				

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び 技能	思考力、判断力、表現 力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
Ⅱ部									
1 時代をひらく	最初のペンギン	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、エ、 カ	168		3	3	1 学期 24
	豊かさとは生物多様性	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、ウ、 キ	176		4	4	
	考える楽しみ②……「真の価値」を求めて	(1)ア		(1)ア	184				
2 新しい視点 から	物語の外から	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、カ	186		3	3	
	カフェの開店準備	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、エ／ (2)イ	193		3	3	
	言葉の扉③……紛らわしい漢字	(1)イ		(1)イ	200				
	〔書く〕短い論文を書いて読み合おう	(1)エ／(2) ア	(1)ア、ウ、 カ／(2)ウ		203	11		11	
3 科学と人間	鏡としてのアンドロイド	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、ウ、 カ／(2)ウ	210		3	3	2 学期 28
	ロボットが隣人になるとき	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、ウ、 カ／(2)ウ	219		4	4	
	言葉の扉④……的確に表現するために	(1)ウ		(1)ア	228				
4 豊かな認識	言葉は「ものの名前」ではない	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、ウ、 カ／(2)ウ	232		4	4	
	科学的「発見」とは	(1)ア、イ、 ウ		(1)イ、カ	240		3	3	
	◆図表の読み取り方	(2)イ	(1)ア		249	14		14	
	〔書く〕資料を活用して論述しよう	(1)エ／(2) ア、イ	(1)ア、イ、 オ／(2)エ		253				
5 知のゆくえ	知識における作者性と構造的性	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、ウ、 カ／(2)ウ	262		4	4	3 学期 18
	もう一つの知性	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、ウ、 カ／(2)イ	271		4	4	
	ブックガイド②……現代を生きるために	(3)ア		(1)キ	280				
6 明日をみつ めて	ホンモノのおカネの作り方	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、エ、 オ／(2)オ	282		4	4	
	未来のありか	(1)ア、イ、 ウ		(1)ア、エ、 キ	291		4	4	
	考える楽しみ③……困難な時代に	(1)ア		(1)ア	308				
	〔読む〕やさしい日本語	(1)ア、ウ／ (2)イ		(1)ア、エ／ (2)ア	302		2	2	
(Ⅰ部・Ⅱ部)合計						50	90	140	